

2022年3月期 上期 決算概要

2021年11月4日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ Q2/Q2累計実績

- 売上収益：過去最高。心臓血管の需要が顕著に回復し、他カンパニーも増収
- 調整後営業利益：過去最高。想定していたマイナス影響を予定通り受けるも、全カンパニーで増益。予算は計画通りの執行

■ 21年度業績予想

- 従来の業績予想を据え置く。配当は従来予想から2円増配し、年間32円へ
- 症例数を始めとした医療需要の継続的な回復、成長を見込む。サプライチェーンの混乱、原材料費や輸送費高騰等の懸念が残るものの、費用コントロールにより達成を目指す

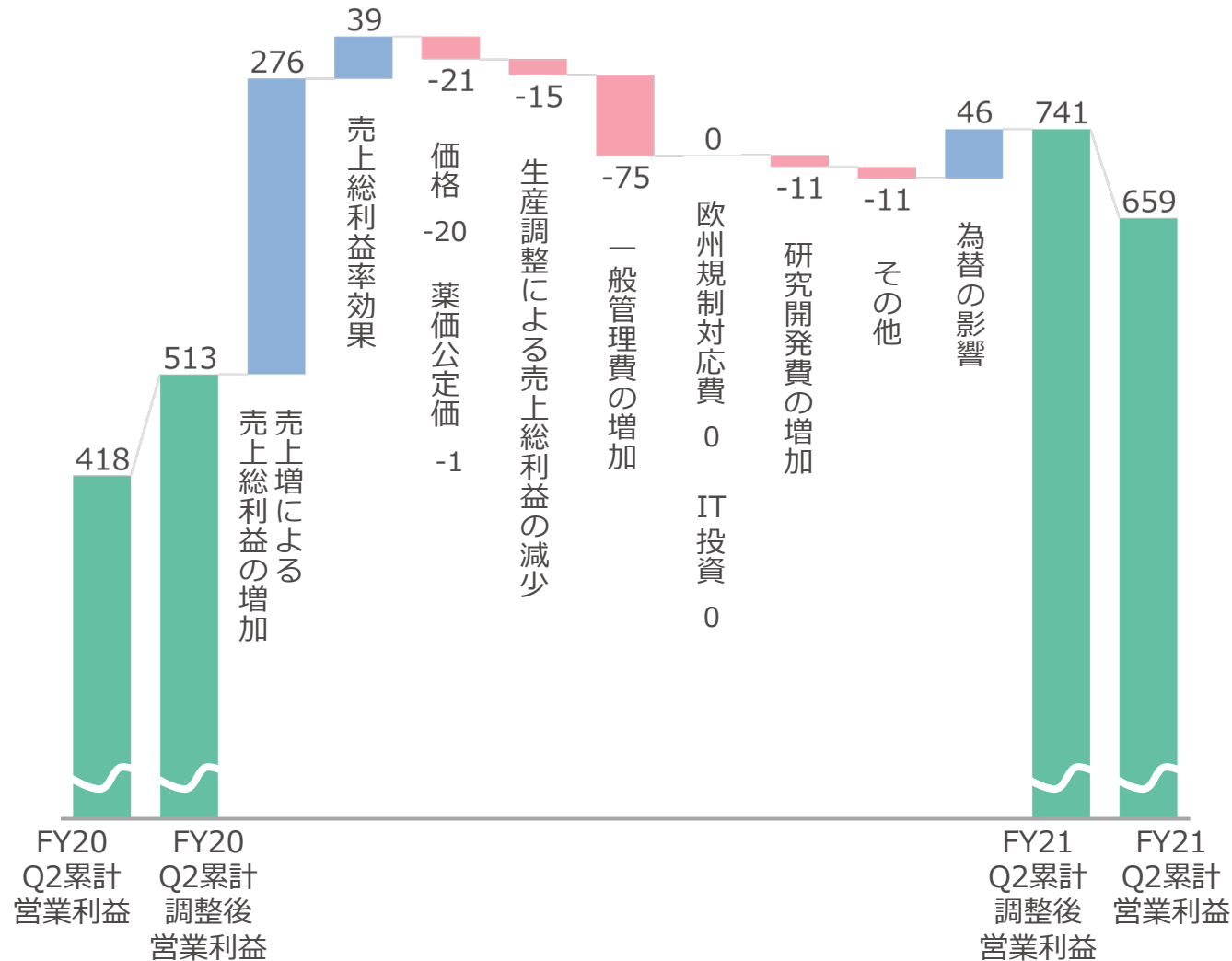
P&L実績

- 売上収益：四半期及び半期として過去最高。心臓血管、特にTISを中心に顕著な需要回復。Q2は北米、欧州を中心に心臓血管が新型コロナ再拡大の影響により減速するも、全カンパニーで増収
- 調整後営業利益：Q2及び半期として過去最高。生産調整、中国入札のマイナス影響は予定通り受けるも、全カンパニーで増益。欧米を中心にワクチンの普及に伴って行動制限が緩和され、Q2は計画通りの予算執行

金額（億円）	FY20 Q2累計	FY21 Q2累計	増減率	為替除く増減率	FY20 Q2	FY21 Q2	増減率
売上収益	2,833	3,446	22%	17%	1,520	1,729	14%
売上総利益 (売上総利益率%)	1,505 (53.1%)	1,862 (54.0%)	24%	18%	816 (53.7%)	920 (53.2%)	13%
一般管理費 (一般管理費率%)	859 (30.3%)	955 (27.7%)	11%	7%	458 (30.2%)	490 (28.4%)	7%
研究開発費 (研究開発費率%)	231 (8.2%)	247 (7.2%)	7%	4%	119 (7.8%)	130 (7.5%)	9%
その他収益費用	4	-2	-	-	-1	-3	-
営業利益 (営業利益率%)	418 (14.8%)	659 (19.1%)	57%	47%	238 (15.6%)	296 (17.1%)	25%
調整後営業利益 (調整後営業利益率%)	513 (18.1%)	741 (21.5%)	45%	36%	296 (19.5%)	339 (19.6%)	15%
税引前利益 (税引前利益率%)	407 (14.4%)	653 (18.9%)	61%		228 (15.0%)	293 (16.9%)	28%
当期利益 (当期利益率%)	318 (11.2%)	500 (14.5%)	57%		178 (11.7%)	221 (12.8%)	24%
期中平均レート(USD/EUR)	107円/121円	110円/131円			106円/124円	110円/130円	

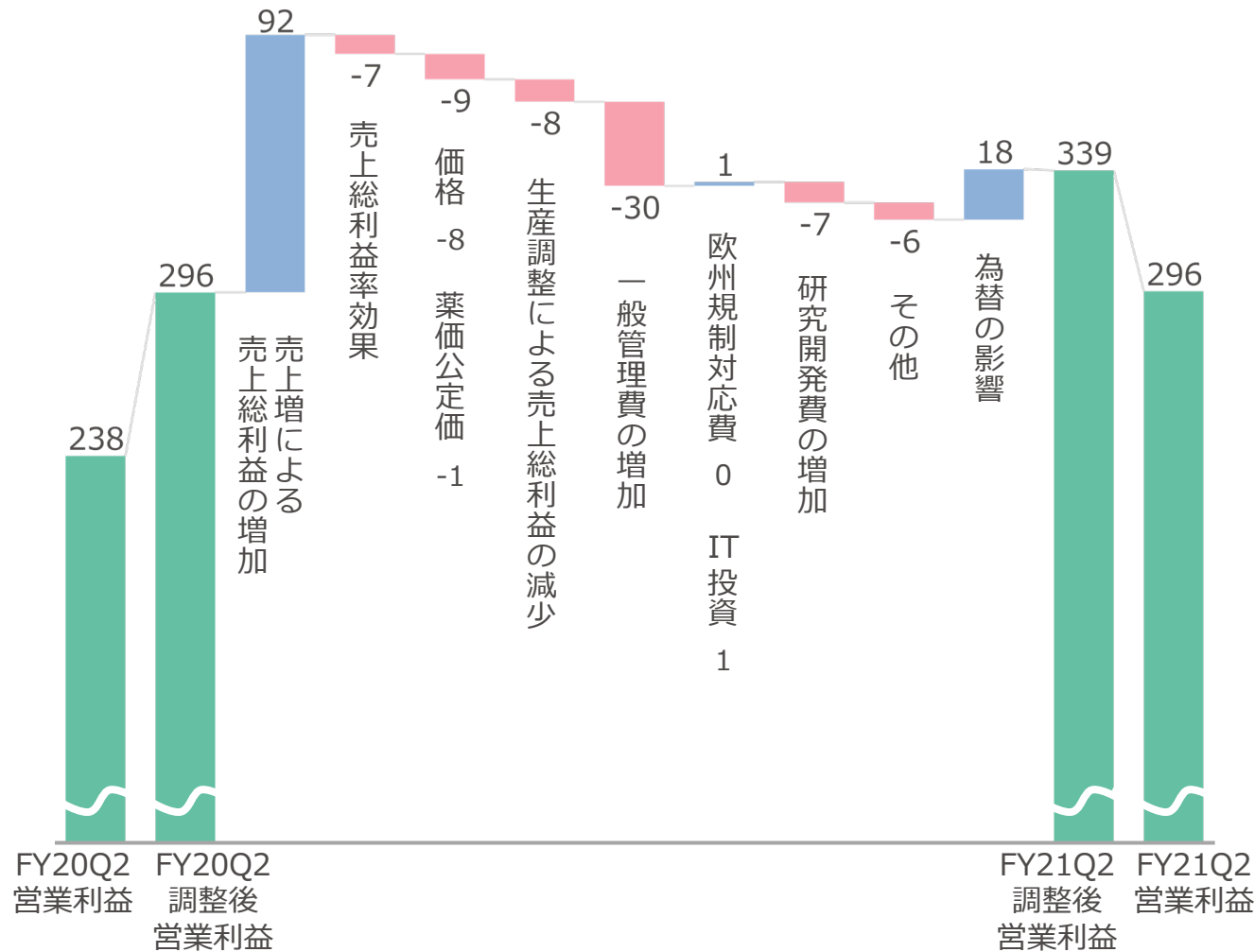
調整後営業利益増減分析 (Q2累計)

(億円)



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ影響を受けた20年度Q2累計との比較では、心臓血管を中心に全カンパニーで増収
- 売上総利益率効果：
心臓血管、主にTISの売上増によるミックス改善効果が大きい
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れた20年度Q2累計との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主にユーロ、中国元がフローに影響。ストックへの影響は軽微

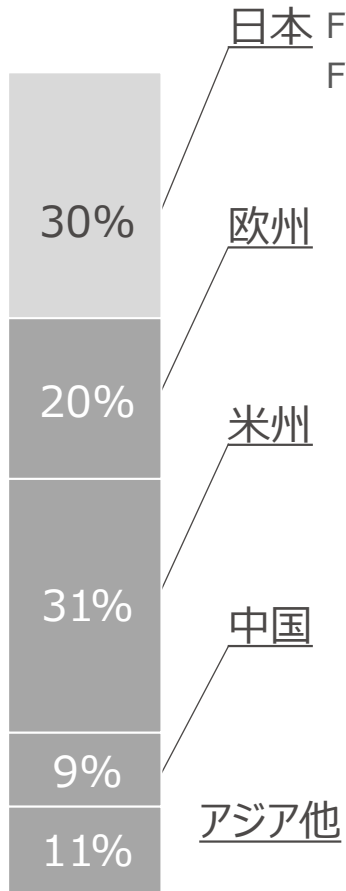
調整後営業利益増減分析 (Q2)



- 売上増による売上総利益の増加：
コロナ再拡大の影響により減速するも、コロナ影響をより大きく受けた20年度Q2との比較では、心臓血管を中心に全カンパニーで増収
- 売上総利益率効果：
北米工場における生産人員不足や、コロナ再拡大によるベトナム工場の操業度低下、輸送費高騰の影響を受けて減少
- 価格：
主に中国でのTIS製品入札による価格下落
- 一般管理費の増加：
コロナ影響で費用進捗の遅れた20年度Q2との比較では大きく増加
- 為替の影響：
主にユーロ、中国元がフローに影響。ストックへの影響は軽微

地域別売上収益

FY21 Q2累計
地域構成比



FY	売上収益 (億円)		FY21 Q2累計 前年増減率 ()内は為替影響除く	コメント (C&V: 心臓血管、GH: ホスピタル、TBCT: 血液・細胞テクノロジー)
	Q2累計	Q2		
FY19	959	500		GHは医療器、アライアンスが牽引し二桁伸長を継続、C&VもTIS・ニューロの回復により伸長を継続。TBCTはわずかに減収。QoQ (21年度Q1とQ2の比較) ではシリンジやポンプ、ヘルスケア製品、TBCTが二桁QoQ伸長と牽引するも、C&Vはコロナ再拡大の影響を受け、わずかに減速
FY20	935	492	10%	
FY21	1,024	532		
	583	282		TIS・ニューロを中心に全カンパニーで伸長を継続。QoQではC&Vがコロナ再拡大の影響を受けて減速も、血液センター向け製品やアライアンスが牽引し、TBCT、GHは加速
	555	301	23% (14%)	
	683	338		
	926	466		TIS・ニューロを中心に全カンパニーで伸長を継続。QoQでは全カンパニーが減速も、中南米はTIS、TBCT、CVが牽引し一桁後半のQoQ伸長
	825	462	29% (25%)	
	1,063	519		
	244	108		TISを中心に全カンパニーで伸長を継続。ニューロは20年度上期に代理店の受注タイミングのマイナス影響があり、この影響を除くと中国全体で20%台後半の伸長。QoQではQ1に代理店の買い込みが見られたTISを中心に全カンパニーが減速
	203	101	49% (36%)	
	301	147		
	361	192		一部の国におけるロックダウン等の影響もあり、全カンパニーにおいてスローな回復。QoQでは医療器が牽引、TBCTも加速、C&Vはわずかに減速
	315	165	19% (13%)	
	374	193		

心臓血管:

北米、欧州を中心に症例数が顕著に回復し、全事業で売上が大きく伸長。
21年度Q1との比較ではコロナ再拡大により売上減少も、計画通りの予算執行

(億円)

	Q2累計			Q2			コメント	Q2累計 売上増減
	() 内は為替影響除く							
売上 収益	1,726	1,494	1,943 +30% (+24%)	841	821	948 +15%	TIS : アジアや日本ではコロナ影響が残るも、北米と欧州は顕著に回復。QoQ (21年度Q1とQ2の比較) ではQ1に代理店の買い込みが見られた中国、コロナ再拡大のあった欧州、北米が減速も、中南米が二桁QoQ伸長、アジアもQ1の水準を維持	+274
調整後 営業利益	472	320	508 +59% (+43%)	227	196	214 +9%	ニューロ : 北米と欧州で脳動脈瘤治療の顕著な回復。血栓吸引カテーテルも高成長を維持。QoQではコロナ再拡大のあった欧州、北米が減速も、中国、中南米、アジアは加速	+102
							CV : 北米、欧州における顕著な症例回復に加え、病院の投資再開により装置売上も好調。QoQではコロナ再拡大のあった北米を中心に減速も、症例回復や装置の好調が牽引し、欧州、中南米は加速	+38
							血管 : 欧州と北米を中心に顕著な回復。QoQではコロナ再拡大のあった欧州、北米を中心に減速も、中南米は加速	+35
調整後 営業利益率	FY19	FY20	FY21	FY19	FY20	FY21	利益 : 中国入札や、在庫水準適正化に向けた生産調整、北米工場の生産人員不足によるマイナス影響を、製品ミックスの改善効果で跳ね返す。Q2は計画通りの予算執行	
	27%	21%	26%	27%	24%	23%		

ホスピタル:

ポンプ、回転品を中心に医療器が牽引。
21年度Q1との比較でも医療器が牽引し、増収増益

(億円)

	Q2累計			Q2			コメント	Q2累計 売上増減
売上 収益	828	818	920	431	426	482	医療器 : 日本、北米、アジアを中心とした回転品の需要回復や、コロナ対応のためのポンプ需要が牽引して二桁伸長。感染対策製品は需要が一巡。QoQ (21年度Q1とQ2の比較) では日本においてポンプやワクチン向けシリンジ、アジアにおいて回転品が牽引し二桁半ばのQoQ伸長 医薬品 : 輸液剤は需要の回復が鈍く、一桁半ばの伸長。疼痛緩和製品と癒着防止材は二桁伸長と好調を継続。QoQでは癒着防止材が牽引し、全体で一桁前半のQoQ伸長	+50
			+12% (+11%)			+13%		+9
調整後 営業利益	126	117	134	74	65	70	DM・ヘルスケア : コロナ対応やワクチン副反応に伴う特需により、体温計、血圧計が牽引。QoQでは体温計が牽引し、二桁半ばのQoQ伸長 アライアンス : CDMOビジネスが牽引し、20%を超える伸長	+15
			+15% (+16%)			+7%		+28
調整後 営業利益率	15%	14%	15%	17%	15%	15%	利益 : 輸送費高騰のマイナス影響を製品ミックスの改善で相殺。Q2の販管費は計画通り使用	

() 内は為替影響除く

血液・細胞テクノロジー:

製品ミックス改善、費用コントロールにより増収増益を継続。
21年度Q1との比較では血液センター向け売上が加速

(億円)

	Q2累計			Q2			コメント	Q2累計 売上増減
売上 収益	() 内は為替影響除く						血液センター : 全血採血製品が欧米を中心に二桁伸長と回復。成分採血製品も北米、アジアで好調を継続し、コロナ回復期血漿の需要減速の影響を押し返す。QoQ (21年度Q1とQ2の比較) では成分採血、ついで全血採血製品が欧州と日本で牽引し、一桁後半のQoQ伸長	+38
	518	520	582	275	272	299		
			+12% (+7%)			+10%		
調整後 営業利益	67	89	118	41	50	58	アフレス治療 : 症例数の伸長に応じて病院が投資を進め、北米、欧州で二桁伸長。QoQでは北米で減速も、中南米や中国が加速し、全体でQ1水準を維持	+18
			+32% (+18%)			+15%		
調整後 営業利益率	13%	17%	20%	15%	18%	19%	細胞処理 : 20年度上期にはコロナ影響による導入遅延が見られたが、北米を中心に下期の回復から成長軌道へ	+6
	FY19	FY20	FY21	FY19	FY20	FY21	利益 : 全血採血製品の需要回復による製品ミックスの平常化や、コロナ再拡大によるベトナム工場の操業度低下のマイナス影響を、製品ミックスの改善と費用コントロールの効果が上回る	

配当予想の修正

- 安定的に配当を増やし、中長期的に配当性向30%を目指す
- 21年度は年間32円へ（従来予想から2円増配）

	従来予想	今回予想
配当/株（円）	30.0円 中間15.0 期末15.0	32.0円 中間16.0 期末16.0
配当性向	24.7%	26.3%

※21年度業績予想 当期利益：920億円、EPS：122円

※中間配当は、2021年11月4日公表の「剰余金の配当（第2四半期末配当）および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり確定

主なトピックス

全社

- 東京証券取引所の新市場区分において「プライム市場」を選択
- 26年連続でグッドデザイン賞を受賞



半固形・とろみ流動食
「PGシリーズ・F2シリーズ」
他4製品が受賞

心臓血管

- 欧州心臓病学会にて高出血リスク患者における最適な抗血小板療法を検証した「MASTER DAPT」試験の最終結果を発表
- 米国において胸部ステントグラフト「RelayPro」の販売を開始



胸部ステントグラフト
「RelayPro」



血糖値管理アプリ
「メディセーフデータシェア」
(スマートフォン版 参考画面)

ホスピタル

- 血糖値管理アプリ「メディセーフデータシェア」をリリース
- 日本において100周年を記念した体温計を限定発売



電子体温計
「S100」

血液・細胞 テクノロジー

- アフリカで実施した分娩後出血における医療環境の改善とその経済効果に関する分析を発表
- コスタリカに血液関連事業の工場を竣工

参考資料

21年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	次期薬剤溶出型ステント	日	
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧	
	末梢血管塞栓用コイル	日	
	末梢血管塞栓用プラグ	米	済み
脳	血流改変ステント	欧米	
	バルーン付きガイドカテーテル	欧米	
	コイルアシストステント	欧米	欧：済み
血管	胸部ステントグラフト	米	済み
	オープンステントグラフト	米	
	腹部ステントグラフト	日	済み

領域	製品	地域	ローンチ
医療器	次期輸液ポンプ	日	
	次期小型シリンジポンプ	日	
	FNシリンジ（16mm針）	日	済み
医薬品	フルマゼニル静注	日	済み
	次期無菌接合装置	日	済み
	ジェルクレア	日	
DM・ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日	済み
	パッチ式インスリンポンプ	欧	済み
	100周年記念体温計	日	済み
	非接触データ通信体温計	日	
血液・細胞テクノロジー	血液自動製剤システム	グローバル	
	付加価値サービス	グローバル	済み

売上明細 (地域別・事業別)

2021年度 上期 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for the First Half of FY2021

(百万円 / millions of yen)

		1st Half FY2020							1st Half FY2021										構成比 % to total				
		日本 JPN	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others	合計 WW	日本 JPN	%YoY	海外 Overseas	%YoY	欧州 Europe	%YoY	米州 Americas	%YoY	中国 China	%YoY		アジア他 Asia and others	%YoY	合計 WW	%YoY
心臓血管 カンパニー	TIS	14,449	88,485	24,561	38,565	14,828	10,529	102,935	15,564	7.7%	114,817	29.8%	31,333	27.6%	51,580	33.7%	18,501	24.8%	13,397	27.2%	130,382	26.7%	37.8%
	ニューロバスキュラー	2,003	15,611	6,139	7,414	-	2,057	17,615	2,695	34.5%	25,115	60.9%	8,038	30.9%	10,659	43.8%	4,512	-	1,904	-7.4%	27,811	57.9%	8.1%
	カーディオバスキュラー	5,233	14,345	2,449	8,876	750	2,268	19,578	5,441	4.0%	17,928	25.0%	3,053	24.6%	11,429	28.8%	1,049	39.8%	2,396	5.7%	23,370	19.4%	6.8%
	血管	1,176	8,119	4,732	2,346	574	466	9,295	1,303	10.8%	11,473	41.3%	6,288	32.9%	3,820	62.8%	774	34.8%	591	26.7%	12,777	37.5%	3.7%
Cardiac and Vascular Company		22,862	126,562	37,883	57,202	16,153	15,322	149,424	25,005	9.4%	169,335	33.8%	48,718	28.6%	77,490	35.5%	24,837	53.8%	18,289	19.4%	194,341	30.1%	56.4%
ホスピタル カンパニー	医療器	24,189	11,207	1,248	2,947	546	6,464	35,396	26,739	10.5%	13,638	21.7%	1,380	10.6%	4,065	37.9%	589	7.8%	7,603	17.6%	40,378	14.1%	11.7%
	医薬品	22,110	-	-	-	-	-	22,110	23,031	4.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23,031	4.2%	6.7%	
	DM・ヘルスケア	11,255	1,348	391	7	399	550	12,604	12,212	8.5%	1,871	38.8%	406	3.9%	13	89.0%	528	32.5%	921	67.4%	14,084	11.7%	4.1%
	ホスピタルシステム小計	57,555	12,555	1,639	2,954	946	7,015	70,111	61,983	7.7%	15,510	23.5%	1,787	9.0%	4,078	38.1%	1,118	18.2%	8,525	21.5%	77,494	10.5%	22.5%
	アライアンス	7,269	4,410	2,933	1,161	69	244	11,680	9,742	34.0%	4,724	7.1%	3,178	8.3%	963	-17.1%	65	-5.0%	516	111.4%	14,466	23.9%	4.2%
General Hospital Company		64,825	16,966	4,575	4,115	1,015	7,259	81,791	71,726	10.6%	20,234	19.3%	4,966	8.5%	5,042	22.5%	1,184	16.0%	9,042	24.5%	91,961	12.4%	26.7%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	5,411	33,608	10,341	12,960	2,722	7,584	39,019	5,297	-2.1%	37,529	11.7%	11,419	10.4%	14,129	9.0%	3,397	24.8%	8,583	13.2%	42,826	9.8%	12.4%
	アフェシス治療他	196	9,232	2,318	5,365	328	1,220	9,428	186	-4.9%	11,062	19.8%	2,802	20.9%	6,296	17.4%	560	70.9%	1,402	14.9%	11,249	19.3%	3.3%
	細胞処理	86	3,418	406	2,837	58	115	3,504	71	-16.9%	4,062	18.8%	400	-1.5%	3,384	19.3%	144	149.1%	132	14.5%	4,134	18.0%	1.2%
Blood and Cell Technologies Company		5,693	46,259	13,067	21,162	3,108	8,920	51,952	5,555	-2.4%	52,655	13.8%	14,622	11.9%	23,811	12.5%	4,102	32.0%	10,118	13.4%	58,210	12.0%	16.9%
その他	Others	127	-	-	-	-	-	127	124	-1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124	-1.8%	0.0%	
合計		93,508	189,788	55,525	82,481	20,278	31,502	283,296	102,412	9.5%	242,225	27.6%	68,307	23.0%	106,343	28.9%	30,124	48.6%	37,449	18.9%	344,637	21.7%	100.0%
売上比率		33.0%	67.0%	19.6%	29.1%	7.2%	11.1%	100.0%	29.7%		70.3%		19.8%		30.9%		8.7%		10.9%	100.0%			

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD1=¥106.93)
(EUR1=¥121.34)

(USD1=¥109.81)
(EUR1=¥130.88)

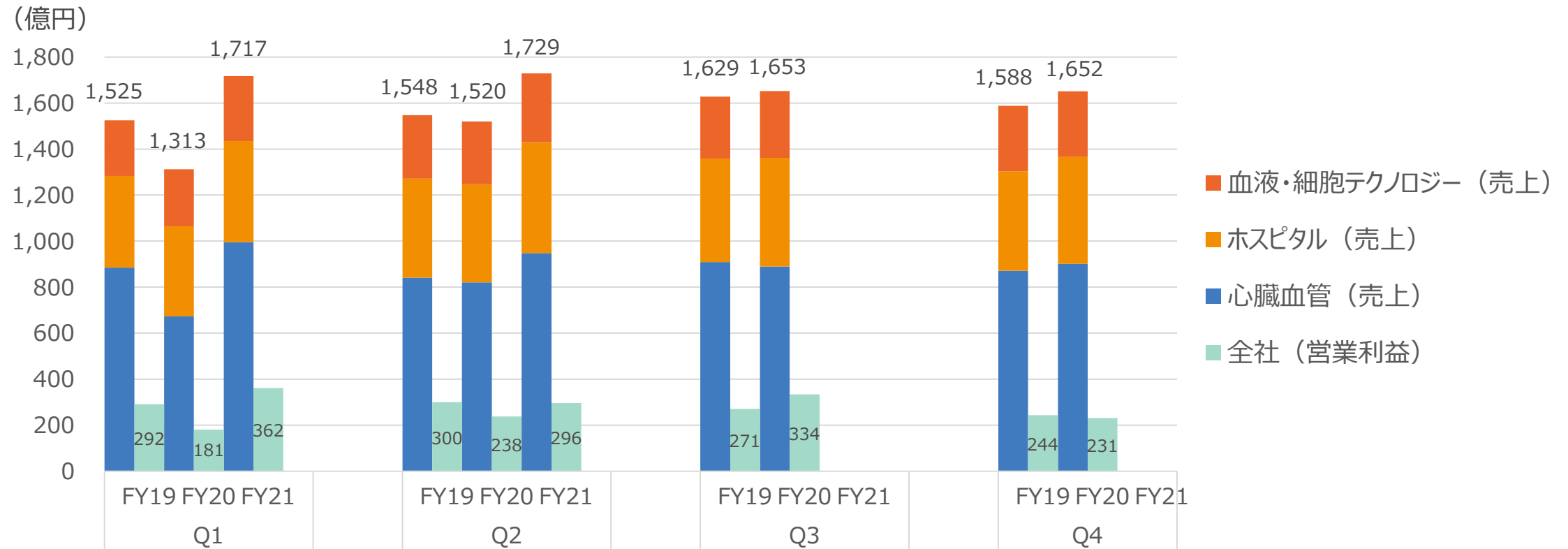
* FY2021より「中国」の売上を開示しているため、「アジア他」から「中国」の売上を除いております。

* Sales in China is not included in "Asia and others" from this reportable segment.

売上収益・営業利益の四半期推移

売上収益： Q2実績は20年度比14%伸長、19年度比12%伸長。19年度比では心臓血管の売上伸長が13%と大きく、為替（ユーロ等）もプラスの影響

営業利益： Q2実績は中国入札や生産調整等の粗利へのマイナス影響に加え、北米工場における生産人員不足や、コロナ再拡大によるベトナム工場の操業度低下、輸送費高騰の影響を受ける。北米、欧州、日本を中心に計画通りの予算執行



P&L (四半期推移)

(億円)

	FY20 Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)
売上収益	1,520	1,653	1,652	1,717	1,729
売上総利益	816 (53.7%)	908 (54.9%)	854 (51.7%)	943 (54.9%)	920 (53.2%)
一般管理費	458 (30.2%)	447 (27.1%)	488 (29.5%)	465 (27.1%)	490 (28.4%)
研究開発費	119 (7.8%)	128 (7.7%)	132 (8.0%)	117 (6.8%)	130 (7.5%)
その他収益費用	-1	2	-2	1	-3
営業利益	238 (15.6%)	334 (20.2%)	231 (14.0%)	362 (21.1%)	296 (17.1%)
調整後営業利益	296 (19.5%)	372 (22.5%)	274 (16.6%)	402 (23.4%)	339 (19.6%)

四半期	USD	106円	105円	106円	110円	110円
平均レート	EUR	124円	125円	128円	132円	130円

販管費（四半期推移）

(億円)

		FY20 Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY21 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)
人件費		232	231	240	249	249
販促費		31	35	43	30	40
物流費		36	38	37	38	39
償却費		49	47	49	48	50
その他		110	97	119	99	112
一般管理費計 (一般管理費率%)		458 (30.2%)	447 (27.1%)	488 (29.5%)	465 (27.1%)	490 (28.4%)
研究開発費 (研究開発費率%)		119 (7.8%)	128 (7.7%)	132 (8.0%)	117 (6.8%)	130 (7.5%)
販管費合計 (販管費率%)		578 (38.0%)	575 (34.8%)	620 (37.5%)	581 (33.9%)	621 (35.9%)
四半期	USD	106円	105円	106円	110円	110円
平均レート	EUR	124円	125円	128円	132円	130円

販管費（前年同期比）

(億円)

	FY20 Q2累計	FY21 Q2累計	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	456	498	42	9%	5%
販促費	51	70	19	38%	34%
物流費	69	77	9	12%	9%
償却費	95	98	3	3%	0%
その他	188	211	23	12%	9%
一般管理費計	859	955	96	11%	7%
(一般管理費率%)	(30.3%)	(27.7%)			

研究開発費	231	247	16	7%	4%
(研究開発費率%)	(8.2%)	(7.2%)			

販管費合計	1,090	1,202	112	10%	7%
(販管費率%)	(38.5%)	(34.9%)			

FY20 Q2	FY21 Q2	増減	増減率
232	249	17	7%
31	40	9	31%
36	39	3	9%
49	50	1	2%
110	112	2	1%
458	490	32	7%
(30.2%)	(28.4%)		

119	130	11	9%
(7.8%)	(7.5%)		

578	621	43	7%
(38.0%)	(35.9%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY20 Q2累計	FY21 Q2累計	FY20 Q2	FY21 Q2
営業利益	418	659	238	296
調整① 買収無形資産の償却費	72	79	37	40
調整② 一時的な損益	23	4	21	3
調整後営業利益	513	741	296	339

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY21 Q2累計	FY21 Q2
事業再編費用	4	3

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY18	FY19	FY20	FY21 Q2累計	FY21予想
設備投資	608	895	772	324	850
償却費	440	477	484	256	530
買収無形償却費	146	157	150	71	155
それ以外	294	320	334	185	375

設備投資は建設仮勘定計上ベース、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

- 21年度Q2累計実績（324億円）：主にTIS、ニューロ、アライアンス、血液・細胞テクノロジー等の増産設備、生産スペース、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続
- 21年度予想（850億円）：上記の他、原料血漿採取関連、ワクチン用シリンジ設備等、21年度業績も踏まえながら適切に実行中

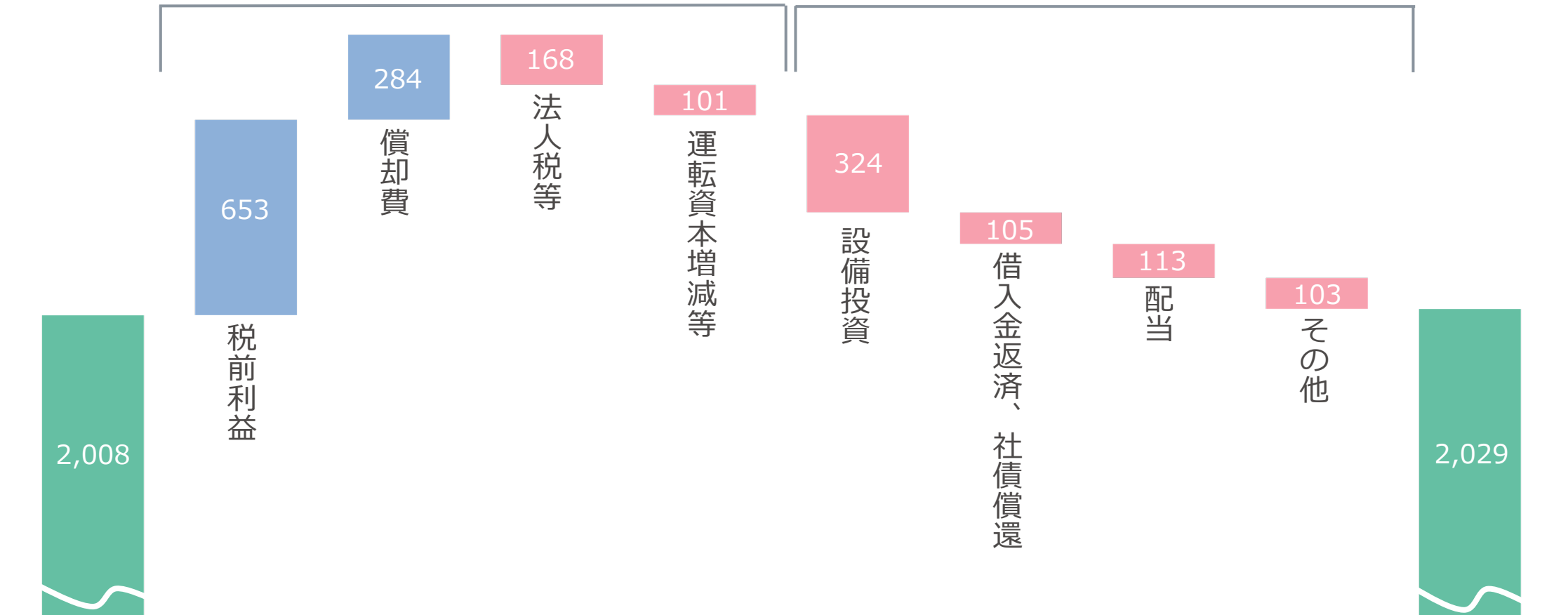
	FY18	FY19	FY20	FY21 Q2累計	FY21予想
研究開発費	477	506	491	247	529

キャッシュフロー（Q2累計）

営業キャッシュフロー
+667

投資・財務キャッシュフロー
-646

(億円)

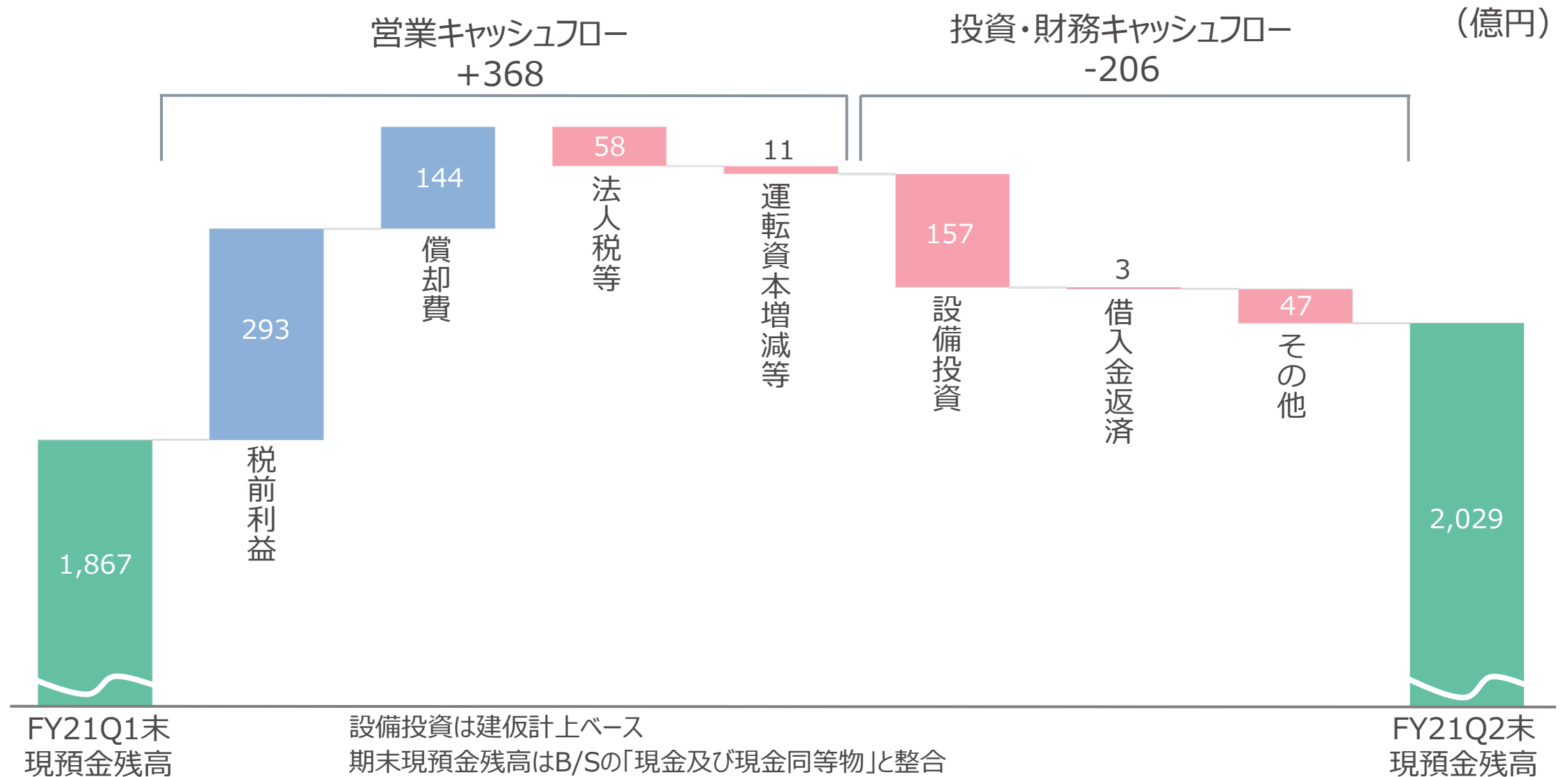


FY20末
現預金残高

設備投資は建仮計上ベース
期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合

FY21Q2末
現預金残高

キャッシュフロー (Q2)



為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額 (億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	17	8	35
調整後営業利益	0	5	15

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	中国元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	23	36



Stride Ahead
100th